

南北線沿線まちづくりプラン（中間案）に対する 意見の概要と本市の考え方について

○意見の概要と本市の考え方

1. 交通・道路に関する意見

No.	意見の概要	本市の考え方
1	地下鉄沿線上、とくに泉中央方面へコミュニティサイクルのエリアを拡大してほしい。現在、コミュニティサイクルのエリアは仙台市中心部から長町方面に偏っており、泉中央から台原エリアでの移動が不便を感じる。また、地下鉄やバスに比べ環境負荷や維持コスト、人的資源の投入も少なく済むと思われる。通勤通学のラッシュも緩和され、移動の選択肢も増えて助かる。これからも住み続けていきたいので、ぜひ検討してほしい。	仙台コミュニティサイクル「DATE BIKE（DATEバイク）」事業では、本市との協定に基づく運営事業者が、市内中心部等にポートの整備を進めているところです。エリアの拡大については、運営事業者の経営判断となることから、頂いたご意見を運営事業者へ情報提供を行わせていただくとともに、今後の施策の検討の中で参考とさせていただきます。
2	地下鉄の駅全駅周辺にDATEバイクの駐輪場を置いて欲しい。北部は全部アップダウンが激しい地域なので、DATEバイクがないとつらい。特に泉中央駅には早急に置いて欲しい。	
3	できれば大学がある地区にまで路線を延長してほしい。宮城学院大学とか東北学院榴ヶ岡高校とか生文・明成高校、宮城大学周辺に地下鉄の延長は必須だと思う。車を持たない学生にはつらい。また、以前、茂庭台までモノレールが通るといって触れ回っていてあの茂庭台の土地を買った方からすれば、モノレールが白紙撤回されてうやむやになっているので、モノレールの代わりに地下鉄を富沢駅から延長すべき。そうすれば宮城大学の太白キャンパスや尚絅学院大学も通いやすくなるので、そちらも延長してほしい。	地下鉄の延伸につきましては、多額の建設費や採算性の確保など多くの課題があることから、本市としては現時点で計画はございません。モノレールの構想は、事業の採算性や利便性などに問題があったため平成3年に計画を断念しております。 なお、本市としては、通学に便利な学校周辺のバス路線図などの情報マップを大学と連携して作成するなど、公共交通の利用方法や利便性を知っていただく取り組みを行っているところです。引き続き、大学や交通事業者と連携して取り組んでまいります。
4	地下鉄の料金が低い。学生に優しくない。	地下鉄の運賃を値下げすることは困難ではありますが、学生や生徒、児童の皆さまを対象に、市バス全線や希望する地下鉄路線が乗り放題となる通学定期券「学都仙台市バス・地下鉄フリーパス」を販売するなど、ご利用いただきやすい運賃制度を実施しているところです。今後もより多くのお客様にご利用いただけるよう利便性の高い運賃制度を検討・実施してまいります。
5	宮城調理製菓専門学校前から西友台原店に抜ける細い道があるが、県道仙台泉線を避けるためなのか、朝と夕方はそこそこ交通量があると感じている。路側帯のみで歩道がなく、少し大きな乗用車でも無理やりすれ違っているのが、カーブ部分は特に歩行者は巻き込まれそうで怖い。速度は出ていなかったがドアミラーをぶつけられたこともある。拡幅して歩道を整備する、一方通行にするなど、何らかの安全対策をしてほしい。	市道堤町青葉町線は、地域の生活を支える道路であることから、安全対策に関するご意見として担当部局に申し伝えます。
6	宮城調理製菓専門学校前の横断歩道について、青葉神社方面からの車が踏切前で停車するのを避けたいのか、横断歩道が青信号になっているのに平気で通り過ぎることが度々ある。車道と歩道の信号の時間を調整して、青葉神社側の車道が完全に赤のときに横断歩道が青になるような仕組みはできないか。時々北仙台駅で白杖の方を見かけるので、安全面に不安を感じている。	現地を確認したところ、青葉神社方面から北進してきた車両が車道信号の表示に従って交差点に進入し、青色灯火中の横断歩道を通過するといった危険な通行は確認できませんでしたが、信号機に関するご意見として、交通管理者である宮城県警に申し伝えます。

2. 公園に関する意見

No.	意見の概要	本市の考え方
7	もっと公園や公共施設が賑やかになって欲しい。例えば、キッチンカーが気軽に新店を出店していて、手軽に飲食できる。キッチンカーやベンチが現状少ないと思う。	本市では、賑わいや活力にあふれたまちの創造に向けて、公共空間における民間活力を生かしたイベントの実施など、地域特性を生かした活動を支援することとしており、都心地区や泉中央地区などにおいて、地域の新たな魅力創出や活性化につながるエリアマネジメントの取り組みが行われているところです。 今後も市民・事業者の皆様と連携・協力しながら、さらなる賑わい創出につながるよう取り組んでまいります。
8	台原森林公園が全体的に老朽化しており、泉区の七北田公園と比べるとメンテナンスが行き届いていない感じがする。特に、台原駅側にある公園は陽当たり時間が短いからか、水はけが悪く、遊具も古いため遊びに来る子どももまばらになっている。野外音楽堂も古くなっており、実質使えない状態である。公園のマップに記載されている道も草が茂っていて、通行不可能な道が多くなっている。今一度台原森林公園を活性化させることで、子どもからお年寄り、家族連れが楽しめる空間になり、七北田公園の混雑の緩和にもつながると思う。台原森林公園の活性化、改修について中期計画へ盛り込んで頂きたい。	本プランにおいても、台原森林公園は地域の活性化に資する貴重な魅力・資源として位置付けており、豊かな自然を活かし様々な活動ができるよう、台原森林公園の施設の適切な管理を行うことを、継続して取り組む施策に位置付けたところです。頂いたご意見について、今後の施策の検討の中で参考とさせていただきます。
9	P41 あすと長町杜の広場にぎわいづくり協議会の取り組み 様々なイベントの開催や美化活動に取り組みながら、「パークマネジメントの新しい在り方を検討しています」とカギ括弧部分の追記を希望する。	ご意見のとおり、あすと長町杜の広場にぎわいづくり協議会の取り組みとして、「パークマネジメントの新しい在り方を検討しています」と追記をさせていただきます。

3. 文化・スポーツに関する意見

No.	意見の概要	本市の考え方
10	東京ドームやさいたまスーパーアリーナのような規模の通年型国際規格のアイスリンクを地下鉄泉中央駅隣接に作ってほしい。そして羽生結弦選手に年1回程度公演をしていただきたい。	ご要望のような新たな施設整備の実現に向けてましては、施設のあり方のみならず、指導者の確保など検討すべき事項が多くあるものと考えており、フィギュアスケート関係者を始め、様々な方々の意見を伺いながら、民間活力の導入も視野に入れ、調査・検討を進めてまいります。
11	泉中央駅周辺は七北田公園を中心として緑豊かな生活ができる快適な環境と感じている。ただスポーツや文化活動を通じた人との交流や場所などが不足しているとも感じている。旭ヶ丘の日立システムズホール仙台のパフォーマンス広場の様な自由度の高い場所の提供が泉中央にも必要と思う。	泉中央駅周辺においては、本プランの施策として位置付けた泉区役所建替事業として、新庁舎内に区民ホール、敷地内に新たな区民広場を整備することとしております。それぞれの運営の方法や利活用の促進に向けては、引き続き地域の関係者や区民の皆様と検討を進め、多様な主体が出会い交流する新しい拠点として、普段使いもイベント利用も両立できる場となるよう、取り組んでまいります。
12	【J0J0美術・アニメーション館(仮)】を南北線開業40周年と『ジョジョの奇妙な冒険』の創刊40周年の記念にオープンしたい！ 地域資源の魅力や価値を向上する取り組みとして、美術やアニメーションの学び場をテーマに『J0J0美術・アニメーション館(仮)』を作者の荒木飛呂彦さんが中学時代を過ごした台原地区、旭ヶ丘駅前(台原森林公園内)に建設する。	アニメや漫画コンテンツの活用は交流人口の拡大に有効であることから、重要な観光コンテンツの一つとして位置付けているところです。 ご意見のありました『ジョジョの奇妙な冒険』についても、関連イベントの開催支援など、様々な取り組みを実施してきているところであり、頂いたご意見も参考とさせていただきますながら、コンテンツの活用策について検討してまいります。

4. 経済・雇用に関する意見

No.	意見の概要	本市の考え方
13	まちづくり計画の中に反映させることが困難かとは思いますが、学都仙台で学んだ学生が、仙台に就職する割合が少なく、特に東日本大震災以降は東京等への流出により青年世代の落ち込み、その人口は非常に厳しい状況にある。未来の仙台市の基盤を支える上で、人材の確保は非常に重要であり、日本全体の課題でもある。このことはまちづくりにもいえることと思う。そういった点で、具体の施策を俯瞰した上でのまちづくり計画への言及が少ないように感じる。もう少し、若者定住や移住等を見据えたうえでのまちづくり計画と、そのための投資を入れ込んだ方がいいのではないかと感じる。	若者の定住や移住等については、上位計画である仙台市基本計画において、地元企業に関する情報発信の強化や若者と企業の交流機会の創出、UJターン就職希望者の掘り起こしやマッチングに取り組むこととしています。地下鉄沿線においては、令和4年3月に策定した「沿線まちづくりの基本方針」において、安全安心で誰もが快適に暮らしやすいまちの創造に向け、若い世帯の居住者が増加する駅周辺も含め子育て機能の充実を図ることなどを施策の方向性に位置付けたところであり、引き続き本方針に基づき、若い方々も含めて誰もが住みたくくなるような魅力あるまちづくりを進めてまいります。

5. 都市開発に関する意見

No.	意見の概要	本市の考え方
14	南北線沿線の駅は駅前に商業施設のある駅が多いが、台原駅周辺はスーパー等が無くお年寄りの方やコロナ禍の中での生活がやや不便な状況である。台原駅前の機能性、生活環境の向上について中期計画にて検討頂きたい。	本プランでは、各地区共通の取り組み施策として、住まう快適性と安心が実感できるよう、地域特性に応じて、暮らしに必要な生活サービス施設（スーパー、飲食店、医療施設など）を誘導するなど、土地利用のあり方について検討することを位置付けたところであり、今後の施策の検討の中で参考とさせていただきます。

6. その他の意見

No.	意見の概要	本市の考え方
15	北仙台駅周辺地区の取り組み施策④「災害に強い地域づくり」について、北仙台以西は広く住宅街になっているが、未だブロック塀の家が結構見られる。擁壁の上にブロック塀があるところもある。擁壁を作り替える際に安全な生け垣などにしたら助成金がより多くなる等の制度があればどうかと思う。緑化推進の生け垣の助成金はすでにあつたと思うが、一緒に作り変えると別々にもらうより少し多くなる、などの特典があれば利用する人が増えるかも知れない。	ブロック塀等除却工事補助金交付事業および宅地擁壁の支援制度、生垣づくり助成制度に関するご意見として、担当部局に申し伝えます。
16	今の所無し。	プラン策定後におきましても、沿線の皆さまと連携をより強め、「将来のまちの姿」などを共有しながら、個性と魅力あるまちづくりに向け取り組んでまいりたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。